

環境管理

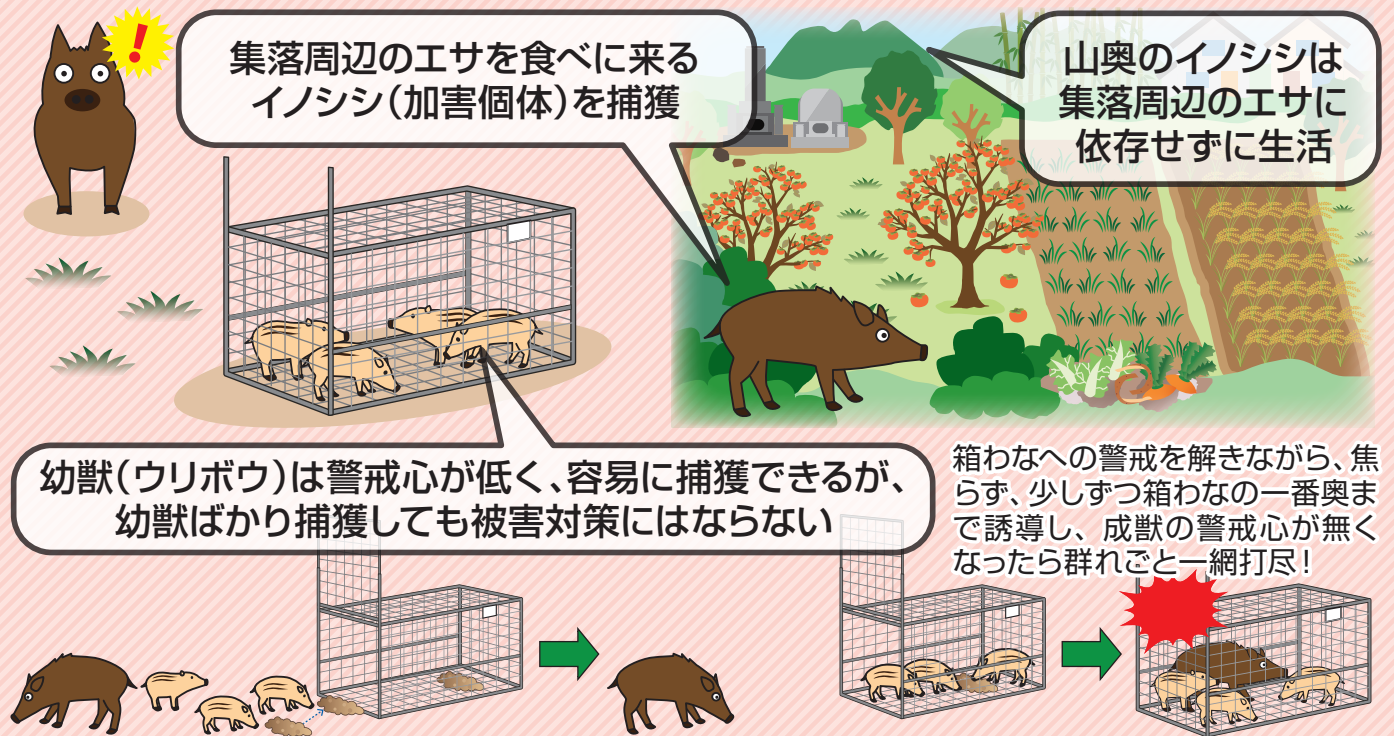
防護

捕獲

# 野生動物(イノシシ)の『数を減らす』ために

イノシシの生息数そのものを減らすことも重要ですが、被害を減らすために、まずは、エサを探して集落周辺に出没するイノシシを捕まえましょう

## 悪者のイノシシを捕獲できていますか？



### 対策 ① 生息環境管理と防護でエサをなくす

収穫残さなどの簡単に食べることのできるエサを無くすことで、相対的に箱わなの中に撒いた誘引用のエサが魅力的になり、捕獲の効率が上がります。

### 対策 ② 成獣のメスを含む群れで捕獲

幼獣だけが捕獲され強制的に子離れした母イノシシは、発情が戻り再び妊娠・出産します。結果、生息数は元に戻ってしまいます。

※成獣のメスは群れ(母子)で行動しているので、幼獣が捕獲されるところを見た母親は箱わなへの警戒心が高まり、捕獲が難しくなります。

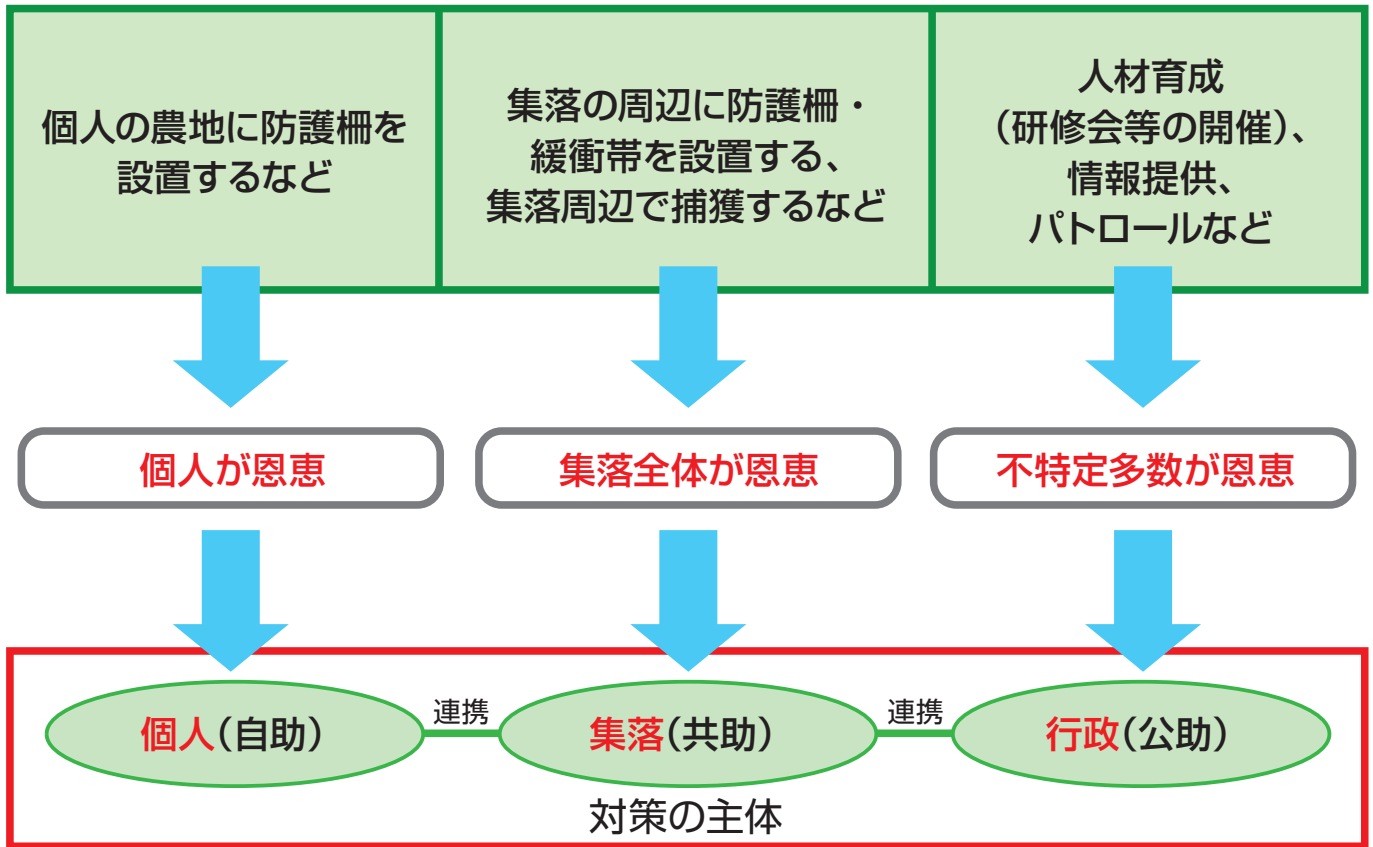
### 対策 ③ みんなで協力して捕獲

箱わなで使うエサ(米ぬか)の調達など比較的容易に協力できることもあります。一部の人に負担が偏らないよう、地域で協力できる体制を整えましょう。

**加害個体を捕獲して被害を減らし、群れごと捕獲して数を減らしましょう**

# 被害対策はだれがやる？

その対策を実施することで「誰が恩恵を受けるのか」を考えましょう



野生動物の被害対策は個人で取り組むには限界があります。集落・地域全体で共通認識を持ち、協力して取り組みましょう。

**7月、8月はイノシシ被害防止強化月間**です。  
イノシシによる農作物被害が発生する直前のこの時期に、協力して防護柵の点検、周辺環境の管理、捕獲の強化に取り組みましょう。

## 問い合わせ先

- ◎ イノシシ等の被害対策等に関するご質問、ご相談は、お住まいの市町の鳥獣対策担当課までお問い合わせ下さい。
- ◎ このチラシの内容に関するお問い合わせ先  
石川県農林水産部農業安全課 電話 076-225-1626  
FAX 076-225-1628

